



平成30年5月8日

各位

上場会社名 市光工業株式会社  
 代表者 代表取締役社長 サワー ハイコー  
 (コード番号 7244)  
 問合せ先責任者 経営企画室長 高森 正樹  
 (TEL 0463-96-1442)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年2月14日に公表した業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせいたします。

記

## ● 業績予想の修正について

平成30年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	68,000	3,700	4,100	3,100	32.27
今回修正予想(B)	70,000	4,800	5,600	4,300	44.76
増減額(B-A)	2,000	1,100	1,500	1,200	
増減率(%)	2.9	29.7	36.6	38.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年12月期第2四半期)	60,571	2,316	2,773	2,212	23.03

平成30年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	133,000	7,300	8,100	6,100	63.50
今回修正予想(B)	135,000	8,400	9,600	7,300	75.99
増減額(B-A)	2,000	1,100	1,500	1,200	
増減率(%)	1.5	15.1	18.5	19.7	
(ご参考)前期実績 (平成29年12月期)	94,070	3,971	4,660	3,792	39.47

## 修正の理由

当社グループは、第1四半期連結累計期間において、新規立上げ製品や、LEDランプ、カメラモニターシステムなど高付加価値製品の販売が堅調に推移し、国内の売上高が増加したこと、アセアンの海外子会社の業績回復、並びに、持分法による投資利益等において一過性の利益を計上したことなどを主因に、予想を上回る実績を計上致しました。これに伴い、かかる第1四半期の実績を第2四半期連結累計期間並びに通期の業績予想に織り込んだ数値へ見直すことと致します。なお、上期業績については第1四半期業績に関する上記要因を踏まえて業績見直しを実施致しますが、下期業績については第1四半期に含まれた一過性要因等が除かれるため、当初予想通りの下期業績を維持致します。

(注)当社は、前期より決算日を3月31日から12月31日に変更しました。これに伴い、第2四半期の連結対象期間(平成30年1月1日から平成30年6月30日)並びに通期の連結対象期間(平成30年1月1日から平成30年12月31日、12ヶ月)は、前期第2四半期(平成29年4月1日から平成29年9月30日)並びに前期(平成29年4月1日から平成29年12月31日、9ヶ月)と比較における対象期間が異なります。

なお、上記の予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以上